

Y05b

天文学普及プロジェクト「天プラ」の10年

高梨直紘 (東京大学), 平松正顕, 伊藤哲也 (国立天文台), 大重維貴乃 (天プラ), 亀谷和久 (東京理科大), 川越至桜, 日下部展彦 (東京大学), 佐藤祐介 (北海道大学), 塚田健 (平塚市博物館), 内藤誠一郎, 夏苺聡美, 額谷宙彦 (国立天文台)

天文学普及プロジェクト「天プラ」(www.tenpla.net)は、天文学と社会のより良い関係を模索し、それを実現していくことを目的に活動を行う任意グループである。天文学分野の若手など12名の運営メンバーを中心に、さまざまな活動を行っている。2003年に活動を開始してから10年が経過し、その間に運営メンバーの多くは学生から社会人へと立場が変わった。それに伴い、活動の質も大きく変化してきた。

天プラの活動は、科学コミュニケーションの文脈や天文学の教育普及の観点から紹介することもあるが、自己認識としては、それらを含むより範囲の広い活動である。本発表では、天プラの活動全体を俯瞰し、それらの活動を支える課題設定、さらにはその背後にあるビジョンを提示する事で、天プラの思想的構造を示したい。あわせて、一家に1枚宇宙図2013の作成、本郷宇宙塾や星空月報などの対話型イベントの実施、小学生のための天文部活動アストロクラブの運営、六本木天文クラブの実施など、これまでに行ってきた諸活動についても総括を行い、どのような意義づけが可能であるのか議論したい。